

「もったいない」は世界のことば！<10月2日（火）芸術鑑賞会>

弥富市では市内の8小学校が毎年、芸術鑑賞会で同じ作品を鑑賞しています。今年度は、劇団「笑う猫」による「もったいないミュージカル『新SCRAP』」を鑑賞しました。

内容～地球の未来を考えよう～

不思議な空間から始まる宇宙への旅。日本代表の少女を始め世界各国から選ばれた搭乗員たちが宇宙船に乗り込みます。彼らには、地球の未来について考える使命があります。ところが、宇宙船が突然故障！誰も知らない星に墜落してしまいます。そこで出会う謎のモノたちは「地球ではたくさんのモノが捨てられるのと同時に大切な意識（もったいない）までも捨てられている」ことを訴えます。果たして、地球の未来を考える彼らは、それに気づくことができるのでしょうか？“ふるさと”美しい地球に無事戻ることはできるのでしょうか？

物語が歌や音楽とダンスで構成されているミュージカル仕立てで、子どもたちが手や足を動かして劇に参加する場面があり、自然とストーリーに入り込み、楽しむことができました。

また、後半は、ダンスワークショップとして、出演者の方が簡単なダンスを子どもたちに指導していただき、子どもたちは体育館いっぱいに広がって、体全体を使ってダンスを楽しむことができました。

今回の劇は、「もったいない」をキーワードに物だけでなく、地球の資源、時間、いきもの、ひと、自分、今、未来・・・この世界にあふれている「もったいない」について考えてみようという大切なテーマがありました。ワークショップのダンスは楽しむことができましたが、テーマがどれだけ心に引っかかっているか心配です。ご家庭で「学校でどんな劇見たの？」と話題にしていただけるとありがたいです。



各学校の研究から学ぶ！<海部地方現職教育研究集会 10/4>

小中学校では、学校ごとにテーマを決めて研究を行っています。この日は、内容ごとに会場に分かれて研究の成果を持ち寄り協議する会が開かれました。今年度、本校では、「互いを認め合うことができる児童の育成～異学年交流活動の活性化を通して～」というテーマで研究を進めています。本校は単学級でクラス替えがなく人間関係が固定されがちになるため、毎年違うメンバーとなる「ふれあい班」の活動を活性化させることで、リーダーの育成や思いやりの心の醸成を図っています。

